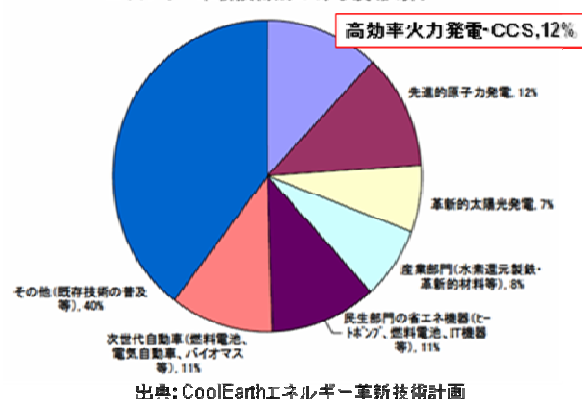


- ・我が国は、2050年までに世界の温室効果ガスの排出量を現状より半減するという長期目標を提案している。クールアース - エネルギー革新技術計画においては、二酸化炭素の排出半減について、高効率火力発電とCCSの組み合わせにより、全体の排出削減の12%に貢献できると試算している。

2050年半減に向けたCO2削減効果として**12%**の大幅な効果を有するという試算がある。

(図10) 2050年世界のCO2半減に至る削減へのエネルギー革新技術別の寄与度(試算)



- ・我が国においては、温室効果ガス排出半減の長期目標をリーダーシップをとって実現するとともに、CCSに関する国際的な動向と連携するためにも、早期にCCSの大規模実証を行いCCS実用化に取り組み、国内での排出削減を率先して行う責務がある。

3. 本実証試験で明らかにする技術的な課題及び目指す技術的な姿は何か。

これまでに実施した研究開発の成果等はどのように活用、反映するのか。また、現在実施している研究開発等とはどのような関係にあるのか。

それぞれについて、分離・回収、輸送、貯留ごとに明らかにされたい。関連事業について、その目的、目標、内容、年次計画(予算規模を含む)実施者、その成果を具体的に示されたい。

(答)

本実証試験は、その時点で実用可能な技術を用いて実施するものであり、個々の技術を組み合わせてシステムとして運転し、技術的な課題等を明らかにすることを目的としている。本実証試験で明らかにする技術的な課題等については、以下の表に示すとおりである。